

枝幸町公共育成牧場哺育牛舎

■所在地	北海道枝幸郡枝幸町山臼	■木材使用量	46.99m ³
■設置者	枝幸町	うち地域材	44.02m ³
■構造	木造1階建	■使用樹種	構造 カラマツ
■延床面積	379.08m ²	外装 カラマツ	



◆施設の概要

受入牛舎で1週間程度個別管理され、検査等が終了した生後2ヶ月齢までの子牛を、コンピューター制御管理により自動で個体を識別管理し、自動授乳機で哺乳を行う省力的な個別管理を行うための、受入牛舎より一回り大きな施設です。

子牛の寒冷対策や病気から守り順調に発育させる等、子牛への飼養環境面を考慮し、熱伝導率が低く外気温、日射による舎内温度、湿度の変化が少なく、構造体の耐腐食性に優れている木造施設としました。

◆工法等の特徴

梁、柱の断面積が大きく取れるラーメン構造とすることで、広い空間を確保することができるとともに牛舎内の通気性が向上し、また、平行材が少なくなる加工を採用することで、カラスなど害鳥の侵入を未然に防止することができ、成育環境の向上を図っています。

◆整備に当たり苦慮したこと

地域材の使用にあたり、枝幸町には製材工場が無く枝幸町産のカラマツ材の調達に苦労しました。地域材の使用量44.02m³のうち、梁には枝幸町産のカラマツ間伐材を構造用集成材として8.4m³使用しています。